

議 事 日 程

令和5年第2回浜中町議会臨時会

令和5年10月31日午前10時00分開議

日 程	議 案 番 号	議 件
日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		会期の決定
日程第 3		諸般報告
日程第 4		行政報告
日程第 5		町長の所信表明
日程第 6	議案第85号	工事請負契約の締結について
日程第 7	議案第86号	工事請負契約の締結について
日程第 8	議案第87号	財産の取得について
日程第 9	議案第88号	浜中町副町長の選任同意について

(開会 午前10時00分)

開 会 宣 告

○議長（落合俊雄君） ただいまから令和5年第2回浜中町議会臨時会を開会します。
会議を開会する前に一言申し上げます。
去る10月8日に開催されました浜中町町長選挙におきまして齊藤清隆君がご当選され、
10月16日に町長にご就任されました。
このたびのご就任、誠におめでとうございます。
議会を代表し、心より祝意を表するとともに、今後とも一層ご活躍されますことをご祈
念申し上げます。

開 議 宣 告

○議長（落合俊雄君） これから本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（落合俊雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、5番川村議員及び6番田甫議
員を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（落合俊雄君） 日程第2、会期の決定を議題とします。
お諮りします。
本臨時会の会期は本日1日間としたいと思います。
これにご異議ありませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（落合俊雄君） 異議なしと認めます。
したがって、本臨時会の会期は本日1日間と決定しました。

日程第3 諸般報告

○議長（落合俊雄君） 日程第3、諸般の報告を行います。
まず、本臨時会に付された案件は、お手元に配付のとおりです。

次に、今議会までの議会関係・諸会議等については記載のとおりであります。
これで、諸般の報告を終わります。

日程第4 行政報告

○議長（落合俊雄君） 日程第4、行政報告を行います。

町長。

○町長（齊藤清隆君） おはようございます。

本日、第2回浜中町議会臨時会を開催させていただきましたところ、議員全員のご出席をいただき、ありがとうございます。

さきの議会から本日までの主なる行政報告を申し上げます。

9月17日、「守りぬく、光輝く、豊かな海」をテーマに、第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会が厚岸漁協特設会場で開催されました。

北海道での開催は、1985年の第5回の湧別町以来、実に38年ぶりの2回目となります。

式典行事には、天皇皇后両陛下ご臨席の下、行政関係者や漁業関係者、国会議員、道議会議員など、約600名が出席し、栽培漁業の推進や地域資源の活用など、北海道水産業の挑戦を全国に発信するとともに、水産資源を守り、次世代に継承していく使命と責務を再確認いたしました。

式典の中で、北海道を代表する4業種の稚貝等について、天皇陛下より、ホタテガイをサロマ湖養殖組合長に、エゾバフンウニを浜中漁業協同組合組合長に、皇后陛下からは、マガキを厚岸漁業協同組合副組合長に、マナマコをひやま漁業協同組合副組合長にそれぞれお渡しいただきました。

19日には、豊かな海づくり大会お手渡し稚貝等の記念放流式を浜中漁業協同組合、散布漁業協同組合、北海道釧路総合振興局産業振興部水産課などの出席で霧多布港内において開催いたしました。記念撮影の後、天皇陛下よりお手渡しをいただきましたエゾバフンウニ100粒を琵琶瀬湾ウニ漁場に放流いたしました。

9月22日、23日、4年ぶりに霧多布神社例大祭が執り行われました。23日の本祭では、役場庁舎の駐車場に各地区の趣向を凝らした山車が集合し、競演を行いました。一時、雨が降る場面もございましたが、爽やかな気候の下、活気あふれる一日となりました。

9月29日、第44回ふるさと浜中会が札幌市で開催されました。当日は、浜中町をふるさととする33名の会員と町議会議員、商工会長などのほか、関係者10名が参加し、浜中牛や花咲ガニなど、まちの味覚に舌鼓を打ちながら、近況の報告や故郷の話題等で盛り上がり、親睦を深めてまいりました。

また、28日からは、大通公園8丁目会場において、さっぽろオータムフェスト2023が行われ、ふるさと浜中会会員の皆様のご協力をいただき、蒸しガキや花咲ガニの鉄砲

汁の販売を行い、30日に成功裏に終了してまいりました。

以上、行政報告とさせていただきます。

○議長（落合俊雄君） 引き続いて、教育委員会より教育行政報告を行います。

教育長。

○教育長（佐藤健二君） 改めまして、皆さん、おはようございます。

さきの定例会からの主なものについてご報告いたします。

9月9日には、浜中町町民体育祭第36回町民駅伝大会が開催されました。本年度は昨年から実施しています総合グラウンドを出発点に、3キロメートルの周回コースを5人のたすきでつなぐコースで実施されました。

当日は、沿道からの声援を受けながら、15キロメートル先のゴールを目指して、5区間を小・中学生2チーム、中学生1チーム、一般8チームの合わせて11チームがたすきをつなぎ、健脚を競ったところであります。

11日には、地域スポーツ・文化芸術団体交流座談会が総合体育館で開催されました。講師には、前回講演をされた北海道教育庁生涯スポーツ課クラブアドバイザーの熊耳雅美氏を招き、20名が参加し、現状の少年団や部活動の問題点のほか、今後の部活動の地域移行に向けた行政や組織、中体連との関わりの課題について、90分間、協議が続きしました。

今回の座談会では、まだまだ解決しなければならない問題点が多く出されました。地域移行に向けて試行的な取組を今すぐにでも始めてほしいなどの建設的な意見も出されました。

30日には第50回浜中町民マラソン大会が開催され、149名の選手が力走しました。小学1年生から3年生が2キロメートル、小学4年生から6年生、女子中学生が3キロメートル、中学生男子以上が6キロメートルを走りました。

選手たちは、総合グラウンドを出発し、沿道から見守る町民の方々の声援を受け、天候にも恵まれ、大きな事故もなく、無事に大会を終えることができました。

10月7日には、全道で11の高校が参加した第11回高校生チャレンジグルメコンテスト表彰式において、霧多布高等学校が地元のホッキを具材に調理した「はまなカレー」で見事にチャレンジグルメ準大賞を受賞いたしました。

なお、霧多布高等学校は3年連続の受賞となります。

12日には管内市町村教育委員会教育長会議及び公立小中学校教職員人事推進会議が釧路教育局で開催されました。教育長会議では、服務規律に関わって、道職員の酒気帯び運転で逮捕された案件の報告、また、過去の学校便りで他人が著作権を有する図柄、イラストなどを無断で学校が使用したなどの著作権侵害の請求事例発生の報告がされました。

本年度の人事推進会議で確認されたことについてですが、重点事項はこれまでと変わりませんが、追加として、定年制の延長に関わり、暫定再任用希望者の積極的な配置を図ることや役職定年者の人事異動に際してはこれまで培った指導力や多様な経験ができる配置

にすることの二つが加わりました。

そのほかで、釧路教育局は、釧路管内市町村での教員年齢構成の歪みが著しく散見されることから、積極的に年齢構成の是正をしていくと話され、特に、浜中町においては、20代の教員が多いことから、D群4年間勤務後の異動を3年間にすることも視野に入れ、ミドルリーダーが位置づく教員の異動を積極的に推進することを話されておりました。

18日には釧路管内社会教育委員研修大会が浜中町庁舎3階会場で開催されました。当日、管内市町村の社会教育委員45名が参加し、本町の社会教育委員が運営に携わり、進行を推進されました。

研修については、道立生涯学習センター主幹の長岡氏による社会教育委員の役割についての講演がなされ、午後には、霧多布高等学校3年生による浜中学の説明を受けた後にグループ協議をし、地域における社会教育委員の役割について、他市町村の社会教育委員と熱心に交流したところであります。参加した皆さんは笑顔で研修会を終えられました。

26日には第9回定例教育委員会が開催され、9月30日に退任された天間館教育長職務代理者に代わり、10月1日からは掛水委員を教育長職務代理者として指名したことを報告いたしました。

28日には霧多布高等学校の各種視察研修及び浜中学の報告会が本校で開催されました。前半には、夏季休業中に実施された各種視察研修の報告があり、特に、コロナ禍で海外視察研修を福島県内の英語施設で代替実施をしていた本研修発表では、本年度、現地オーストラリアでの生き生きとした取組の発表を披露したところであります。

また、後半の浜中学の報告では、本町を活性化させるために、アドベンチャートラベルをテーマに、これまでの3年間の学習の成果が披露され、後輩の霧多布中学生も熱心に3年生の発表を聞いておりました。

以上、教育行政報告といたします。

○議長（落合俊雄君） これで行政報告を終わります。

日程第5 町長の所信表明

○議長（落合俊雄君） 日程第5、町長の所信表明を行います。

町長より、所信表明の申出がありましたので、これを許します。

町長。

○町長（齊藤清隆君） 本日、令和5年第2回浜中町議会臨時会が開催されるに当たり、町政推進に対する私の所信の一端を申し述べさせていただき、町民の皆様並びに議会議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

初めに、3期12年にわたり、東日本大震災に伴う本町の復興をはじめ、幾多の行政課題と向き合い、その先頭に立って懸命にご尽力され、多くの輝かしい実績を残されました松本前町長のご功績に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

私は、このたびの浜中町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、多くの皆様からご支援、ご支持を賜り、町政の重責を担わせていただくことになりました。改めて、その期待に応えるべく、町民の皆様とともに一丸となって浜中町の未来を全身全霊をかけてつくり上げていく所存であります。

今、我が国を取り巻く社会情勢は、長期化したコロナ禍の影響が弱まり、社会経済活動が回復傾向にあった中、ウクライナ情勢に起因して、混沌とした世界情勢を背景に、エネルギー・原材料価格の高騰や円安などにより、本町の基幹産業である農漁業、林業も含めた1次産業をはじめ、全ての産業に、そして、日常生活のあらゆる場面で大きな影響を受けております。

加えて、地方は、少子高齢化の進展や首都圏等への人口流出に伴う本格的な人口減少時代を迎え、地方自治体においては、地域経済を維持する上で必要不可欠な労働力が不足し、さらには、将来の地域社会を牽引する人材が手薄になるなど、地域の存続をかけた難局を迎えていると私は認識しております。

こうした状況でも、浜中町は何より最大の強みである二つの基幹産業である農業と漁業を将来にわたって守り抜くことがまちづくりの全ての基本であります。

浜中町は、食料供給基地として、その重要な責務を担っていかなければならないまちであります。

私は、これからの新たな4年間、五つの重点政策として、産業振興で持続するまちづくり、元気あふれる活気に満ちたまちづくり、自然と共生するまちづくり、安全・安心な生活を守るまちづくり、次代を担う子どもたちのためのまちづくりを掲げ、真のオール浜中で新たなまちづくりに取り組んでいく所存であります。

初めに、産業振興で持続するまちづくりについてです。

本町の農業は、生乳の需給緩和による生産抑制問題、さらには、国際情勢等の影響に伴う肥料・飼料価格の高騰など、取り巻く状況はこれまでにない厳しい局面を迎えております。こうした中でも農業者が本町で安定した経営が持続できるよう、継続した生産基盤の強化と経営者への支援、充実に取り組んでまいります。

漁業については、地球温暖化による海洋環境の変化などにより、本町の漁業形態も刻々と変化してきました。これまで以上に沿岸海域における水産資源の増大、増養殖漁業のさらなる推進に力を注いでまいります。まずは、しっかりと生産者の安定した経営が将来にわたって持続できるよう、産業団体等との強い連携の下、国や道、関係機関などに対し、積極的かつ精力的に要請活動を行ってまいります。

本年7月に国の地理的表示（G I）保護制度に認定登録された浜中養殖うにに続く本町のクオリティーの高い農水産物のブランド化を推進し、産業団体をはじめ、生産者との連携を図りながら、さらなる1次産業の活性化につなげてまいります。

また、長期化で疲弊した商工業、特に飲食店等の減少などにより、町内での購買力が低下している状況にあります。その一方で、この厳しい状況にあっても、町内で新たにお店

を開業される方々が増え始めており、私は、こうした新たに起業する方々を応援すべく、助成制度を創設してまいります。

あわせて、産業の創出に向けて積極的に企業誘致を推進するとともに、本町での安定的な雇用を確保するため、住環境の整備促進を図る新たな助成制度を創設してまいります。

次に、元気あふれる活気に満ちたまちづくりについてです。

本町のクオリティーの高い農水産物を使った商品開発を推進し、ふるさと納税の効果的な活用とタウンプロモーションにより、より一層の知名度アップを図るとともに、道内外の企業の皆様にも浜中町の魅力を発信し、新たに開始する企業版ふるさと納税への取組と連携を図ってまいります。

また、食と自然、地域産業と連携した体験型観光を推進し、本町での観光資源を最大限に生かし、四季を通して浜中町の魅力を体感できる通年型観光を目指し、切れ目なく本町を訪れていただけるような観光振興に取り組んでまいります。

次に、自然と共生するまちづくりについてです。

本町は、昨年3月、地球温暖化対策である国のカーボンニュートラルの実現に向けた方針の下、環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図りながら、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指すゼロカーボンシティーを宣言しました。

本町の世界に誇れる霧多布湿原をはじめとする豊かな自然環境は、本町の全ての産業に恩恵を与えてくれる私たち浜中町民の財産であります。この貴重な自然環境と調和した環境保全への取組を推進するとともに、産業都市構想を基本とした産業団体等との連携によるバイオマス事業、再生可能エネルギーの利活用、さらには、ブルーカーボンと生産活動との両立を目指し、町民の皆様と一体となって脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

次に、安全・安心な生活を守るまちづくりについてです。

本町において、町民の皆様の安全、安心な生活の確保を図る上であらゆる自然災害への対策強化は、決して避けて通れない恒久的な重点課題であります。いつ起きてもおかしくないと言われる日本海溝・千島海溝周辺海溝型巨大地震、津波に備え、ハード、ソフトの両面から人命を最優先にした防災対策を推進するとともに、激甚化、頻発化する異常気象など、あらゆる災害を想定した防災教育や効果的な防災訓練を推進し、いざというときに迅速かつ的確な避難行動が取れるよう、防災意識の向上に努めてまいります。

また、少子高齢化が進展する中、本町に住み続けていただくためには、地域医療を守るとともに、福祉体制の充実が何より重要であります。本年6月から常勤医師2名体制となった町立浜中診療所については、町民の皆様に医療への安心感を常に持っていただけるよう、医療体制の機能の充実と広域医療体制の拡充を図ってまいります。

さらに、町民の皆様が生涯にわたって安心したサポートが受けられるよう、医療、福祉の人材確保はもちろん、あらゆる福祉施策の充実を図ってまいります。

次に、次代を担う子どもたちのためのまちづくりについてです。

子どもたちは、次代を担うかけがえのない浜中町の宝であります。子どもたちが夢と希

望を持ち、健やかに育っていくことが未来の浜中町の希望でありますので、子育て環境、保育と教育活動の一貫した連携強化の下、より一層の充実を図ってまいります。

また、霧多布高校については、浜中学を主軸に、特色ある教育の充実と将来の浜中町を支える基幹産業に特化した産業実習や選択科目の充実を図りながら、将来的な総合学科の導入に向け、教育委員会等との連携の下、協議を進めてまいります。

さて、本町の財政状況は、地方交付税、国や北海道の補助金などに大きく依存しております。地方交付税も年々減少傾向にあり、自主財源の確保が課題である中、私は、第6期浜中町まちづくり総合計画を基本に、適切に事業を選択し、貴重な財源を効率よく配分することを念頭に財政運営に取り組んでまいります。

また、行政に求められるニーズや要望が高度化、多様化する今日、時代に応じた質の高い行政サービスが求められております。私は、町長として、これまで以上に職員との綿密な連携体制を構築し、さらに、職員のケアと人材育成に力を注いでまいります。

私は、町民の皆様が抱える現状に対する不満、将来に対する不安にしっかりと向き合い、一つ一つ課題を解決しながら、全ての町民が安心して年を重ねていける、人も地域も輝く魅力あるまちづくりのために全力を尽くし、町民の皆様とともに浜中町の未来をつくり上げてまいります。

以上、町長就任に当たりまして、私の所信の一端を申し述べさせていただきました。

町民の皆様並びに議会議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

○議長（落合俊雄君） これで町長の所信表明を終わります。

日程第6 議案第85号 工事請負契約の締結について

○議長（落合俊雄君） 日程第6、議案第85号を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（齊藤清隆君） 議案第85号工事請負契約の締結について、提案の理由をご説明いたします。

本案につきましては、新川水門の下流にあります新川船揚場右岸側について、延長37.13メートルを鋼矢板工、上部コンクリート工などで工事しようとするもので、第1回浜中町議会定例会及び第3回浜中町議会定例会で予算議決をいただいております。

この工事に当たり、去る9月28日、町内業者5者による指名競争入札を実施いたしました。

入札の結果、赤石建設株式会社が9603万円で落札いたしました。

なお、工期は令和6年3月25日までとしております。

ここに、議会の議決に附すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、

議会の議決をいただきたく、提案した次第であります。

以上、提案の理由をご説明しましたので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（落合俊雄君） これから議案第85号の質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 質疑なしと認めます。

これから議案第85号の討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 討論なしと認めます。

これから議案第85号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第85号は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第86号 工事請負契約の締結について

○議長（落合俊雄君） 日程第7、議案第86号を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（齊藤清隆君） 議案第86号工事請負契約の締結について、提案の理由をご説明いたします。

本案につきましては、国の有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業として、浜中診療所内にパッケージ型自動消火設備を設置しようとするもので、第1回浜中町議会定例会で予算議決をいただいております。

この工事に当たり、去る9月28日、町外業者5者による指名競争入札を実施いたしました。

入札の結果、太平洋設備株式会社が5269万円で落札いたしました。

なお、工期は令和6年3月8日までとしております。

ここに、議会の議決に附すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決をいただきたく、提案した次第であります。

以上、提案理由をご説明しましたので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（落合俊雄君） これから議案第86号の質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 質疑なしと認めます。

これから議案第86号の討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 討論なしと認めます。

これから議案第86号を採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第86号は原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第87号 財産の取得について

○議長（落合俊雄君） 日程第8、議案第87号を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（齊藤清隆君） 議案第87号財産の取得について、提案の理由をご説明申し上げます。

本案につきましては、平成22年度に購入した電子内視鏡システムについて、経年劣化が著しいことから、このたび新たな機器に更新しようとするものであります。

購入費用につきましては第1回浜中町議会定例会において予算議決をいただいております、財源は国のへき地診療所設備整備事業を活用するものであります。

当該機器の購入に当たり、去る9月28日、町外業者3者による指名競争入札を実施いたしました。

入札の結果、株式会社メルプが841万5000円で落札いたしました。

なお、納入期限は令和6年3月8日までとしております。

ここに、議会の議決に附すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決をいただきたく、提案した次第であります。

以上、提案の理由をご説明しましたので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（落合俊雄君） これから議案第87号の質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 質疑なしと認めます。

これから議案第87号の討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（落合俊雄君） 討論なしと認めます。

これから議案第 87 号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(落合俊雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第 87 号は原案のとおり可決されました。

日程第 9 議案第 88 号 浜中町副町長の選任同意について

○議長(落合俊雄君) 日程第 9、議案第 88 号を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(齊藤清隆君) 議案第 88 号浜中町副町長の選任同意について、提案の理由をご説明申し上げます。

ご承知のように、去る 10 月 3 日、町長選挙が告示され、10 月 8 日の投開票の結果、当選させていただきました。

町政は一時も停滞があってはならないことから、副町長の選任について今議会にお諮りを申し上げるものであります。

提案の石塚豊氏は、これまで、水産課長及び防災対策室長を歴任し、行政手腕を発揮してきました。同氏のまちづくりへの情熱は非常に高く、副町長として最適任と認めるものでありますので、ここに、地方自治法第 162 条の規定により、議会のご同意をいただきたく、ご提案した次第であります。

なお、任期は令和 5 年 11 月 1 日から令和 9 年 10 月 31 日までとなりますので、よろしくご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長(落合俊雄君) お諮りします。

本案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決したいと思えます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(落合俊雄君) 異議なしと認めます。

したがって、本案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決することに決定しました。

これから議案第 88 号を採決します。

この採決は無記名投票をもって行います。

議場の閉鎖を命じます。

(議場閉鎖)

○議長(落合俊雄君) ただいまの出席議員は 9 人です。

投票用紙を配ります。

なお、指示があるまで記入せず、お待ち願います。

(投票用紙配付)

○議長(落合俊雄君) 投票用紙の配付漏れを確認します。

配付漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(落合俊雄君) 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検させます。

(投票箱点検)

○議長(落合俊雄君) 異状なしと認めます。

念のため、申し上げます。

選任を可とする方は賛成、否とする方は反対と記載して投票願います。

なお、重ねて申し上げます。

投票中、賛否を表明しない投票及び賛否の明らかでない投票は、会議規則第84条の規定により、否とみなします。

ただいまから投票用紙への記入をお願いします。

記入が済み次第、1番議員より、順次、投票願います。

(投票)

○議長(落合俊雄君) 投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(落合俊雄君) 投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。

開票に当たり、会議規則第32条の規定により、立会人に3番國井葵議員、4番三膳時子議員を指名します。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(落合俊雄君) 異議なしと認めます。

両議員の立会いを願います。

(開票)

○議長(落合俊雄君) 投票の結果を報告します。

投票総数9票、これは出席議員数に符合しております。

有効投票9票、無効投票0票です。

有効投票のうち、賛成9票、反対0票。

以上のおおり、全員賛成であります。

したがって、議案第88号は選任に同意することに決定しました。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○議長（落合俊雄君） ここで、副町長に選任された石塚防災対策室長より、議員各位に対し、挨拶の申出がありましたので、これを許します。

防災対策室長。

○防災対策室長（石塚豊君） 議長のお許しをいただきまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

ただいま、議員皆様のご高配により副町長の選任同意をいただき、誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。浅学非才な私にとりましては身に余る光栄であり、改めまして、その重責に身の引き締まる思いでもございます。

今、地方を取り巻く情勢、そして、自治体を取り巻く情勢は大変厳しいものがございますが、齊藤新町長の目指します新しいまちづくり、全ての町民が安心して年を重ね、人も地域も輝くまちづくりの推進のため、微力ではありますが、全力で取組をさせていただきたいと考えております。

つきましては、議員の皆様並びに町民の皆様を引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますが、挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしく申し上げます。

閉 会 宣 告

○議長（落合俊雄君） お諮りします。

本臨時会に付議された案件の審議は全部終了しました。

したがって、会議規則第7条の規定により閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（落合俊雄君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会は閉会することに決定しました。

これをもって令和5年第2回浜中町議会臨時会を閉会します。

お疲れさまでした。

(閉会 午前10時50分)